

2020年第1週(12月30日~1月5日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2020年(令和2年)1月10日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔トピックス：インフルエンザ〕

- 本市における2020年第1週(12月30日~1月5日)のインフルエンザの定点当たり患者報告数は10.23人で、前週(21.33)より減少しました。
- 中川区および南区では定点当たり患者報告数が、国立感染症研究所が定める警報レベルで継続しており、千種区、中村区および瑞穂区では注意報レベルとなっています。また、愛知県では12月19日にインフルエンザ警報が発令されています。
- 2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されています。また、A/H3N2亜型、B型ビクトリア系統も検出されています。
- インフルエンザは例年1月から2月にかけて流行のピークを迎えます。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合がありますので注意が必要です。
- 主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染です。予防には人ごみを避け、帰宅時には手洗いをし、また、感染を広げないためにも「咳エチケット」を守りましょう。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 年末、年始の影響からか、定点把握対象疾患の報告数は、全体的に減少しました。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020 年 第 1 週	4 類	レジオネラ症	1	・男性、68 歳、肺炎型、感染地域：滋賀県
2020 年 第 1 週	5 類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	・男性、80 歳、菌検出検体：血液、尿、菌種： <i>E. cloacae</i> 、感染原因：その他
2020 年 第 1 週	5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	・女性、28 歳、菌検出検体：血液
2020 年 第 1 週	5 類	風しん	1	・男性、27 歳、検査診断例、感染地域：名古屋

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

報告はありませんでした。

〔2020 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	0
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

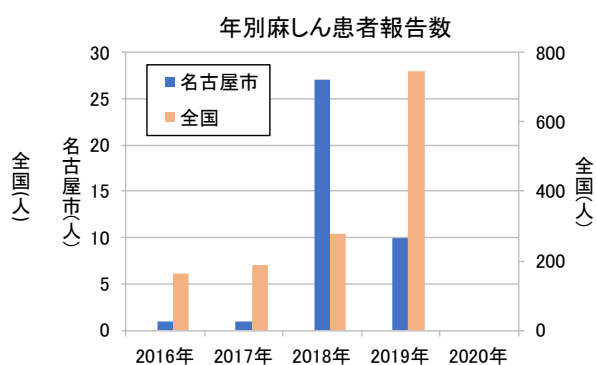
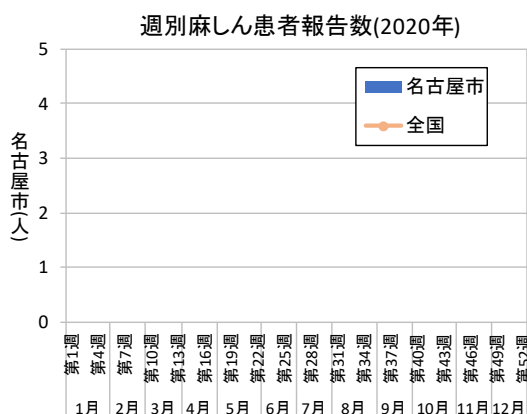
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	レジオネラ症	1
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1
5 類感染症	風しん	1

累計は 2020 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[] 内は疑似症累計数を再掲、【 】 内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕 内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉 内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の麻しん報告数：2020年1月10日作成〕



週別麻しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週(1月5日)までの合計(人)
0	0

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

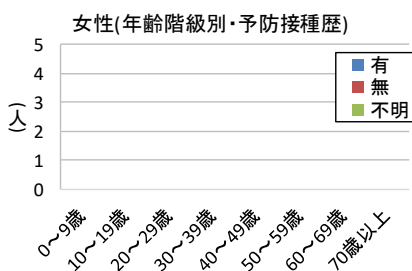
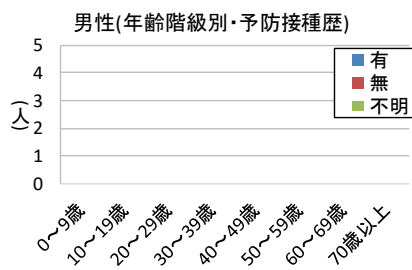
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10	0※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41	—
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	744※2	—

※1 第1週(1月5日)まで ※2 報告数は速報値

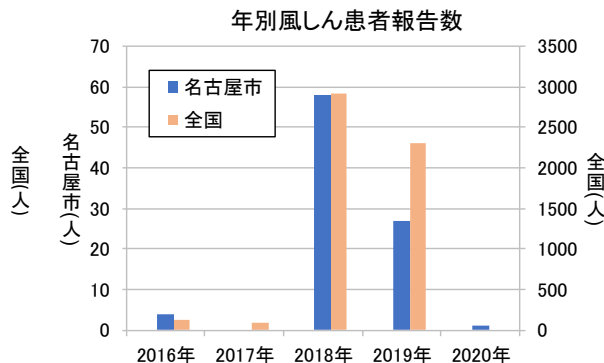
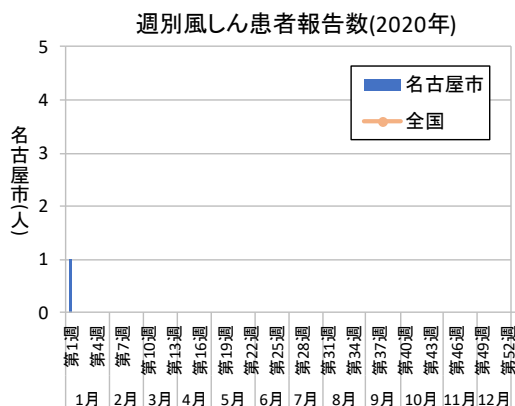
麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)				0	
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	0	0	
総計(人)		0	0	0	



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2020年1月10日作成〕



週別風しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週 (12/30～ 1/5)	/						第1週(1月5日)までの 合計(人)
		1	/					

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

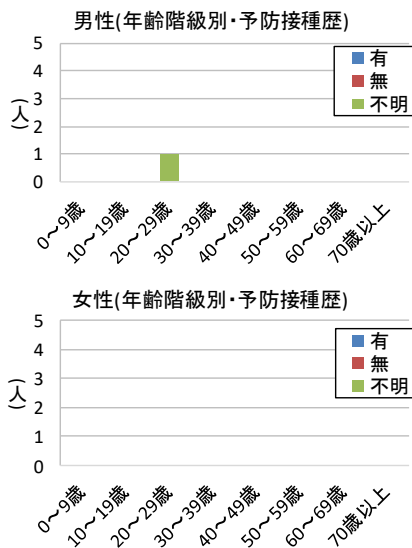
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	27	1※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	59	—
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2941	2306※2	—

※1 第1週(1月5日)まで ※2 報告数は速報値

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳			1	1
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	1	1
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	0	0
総計(人)		0	0	1	1



風しん患者情報(2020年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	2020.1.4	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

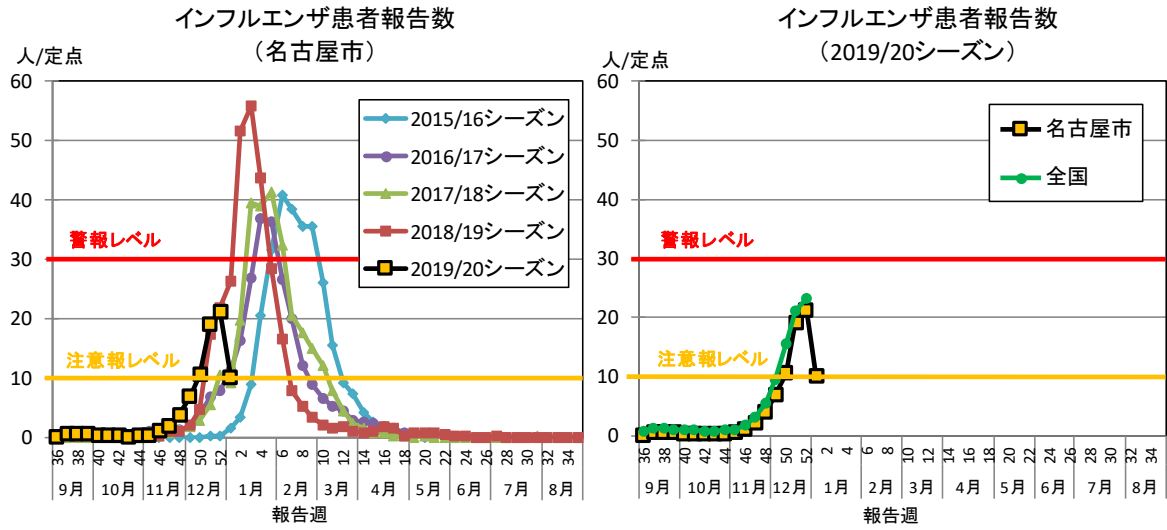
定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ：A型 43 名 B型 1 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：A型 23 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザすべてA型。	定点医療機関（西区）
インフルエンザA型96名、インフルエンザB型3名型、臨床診断2名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型：15名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：1名、臨床診断例：1名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：1名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：1名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型2名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型男性132名女性125名	定点医療機関（南区）

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

インフルエンザ A 型 3 名	定点医療機関（南区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザ A 型 3 名でした	定点医療機関（名東区）

〔名古屋市のインフルエンザ報告数：2020年1月10日作成〕



※名古屋市は2020年第1週、全国は2019年第52週までの報告数

定点当たり患者報告数(2019/20シーズン:8週分)

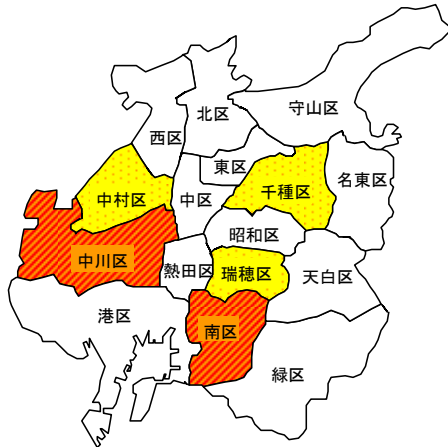
	第46週 (11/11~ 11/17)	第47週 (11/18~ 11/24)	第48週 (11/25~ 12/1)	第49週 (12/2~ 12/8)	第50週 (12/9~ 12/15)	第51週 (12/16~ 12/22)	第52週 (12/23~ 12/29)	第1週 (12/30~ 1/5)
名古屋市	1.16	2.10	3.97	6.93	10.64	19.17	21.33	10.23
名古屋市 (2018/19)	0.30	1.00	1.16	2.04	4.86	17.34	22.00	26.23
愛知県	1.92	3.27	5.48	9.96	16.53	27.55	29.94	—
全国	1.84	3.11	5.52	9.52	15.62	21.22	23.24	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準
 ※報告数は各週公表時における速報値

各区の患者報告数(第1週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの 患者報告数(人)	67	5	0	17	107	0	19	67	3	77	15	287	21	23	3	5	716
定点当たり 患者報告数(人)	13.4	1.3	0.0	4.3	21.4	0.0	3.8	13.4	0.8	19.3	3.8	71.8	4.2	5.8	0.8	1.3	10.23

インフルエンザ



2020年第1週

注意報警報レベルについて

患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	白
注意報レベル	黄
警報レベル	赤

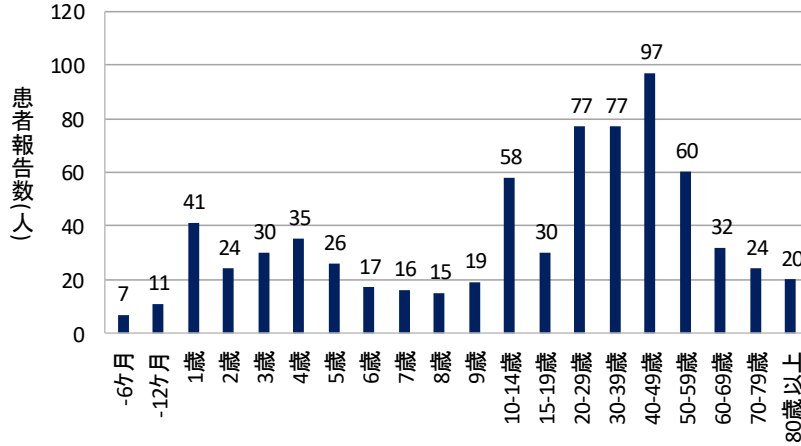
注意報・警報レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

注意報レベル	警報レベル	
基準値	開始基準値	終息基準値
10	30	10

注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合
 警報レベル: 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、10未満となるまで

年齢階級別患者報告数

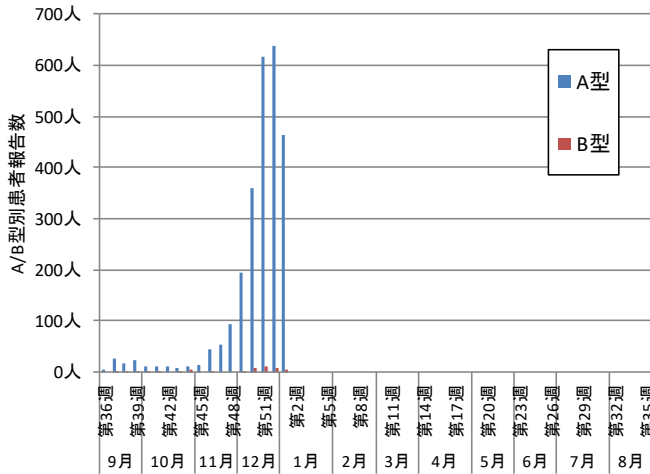
定点からのインフルエンザの
年齢階級別患者報告数(第1週)



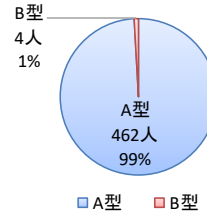
インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2020年第1週は、インフルエンザA型462人、インフルエンザB型4人でした。2019/20シーズンの累計では、インフルエンザA型2591人(98%)、B型50人(2%)となっています。2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されています。

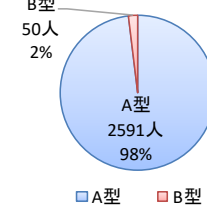
インフルエンザA/B型別患者報告数(2019/20シーズン)
(定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(第1週)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(2019/20シーズン累計)



(報告数はその訂正などにより、変更される場合があります)

◆2020年第1週 患者報告数(疾病区別)、定点あたり患者報告数(疾病区別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

患者報告数(名古屋市)

2020年第1週(2019年12月30日~2020年1月5日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	67	5		17	107		19	67	3	77	15	287	21	23	3	5	716	0.5	0.7
○RSウイルス感染症												3					3	0.1	0.2
○咽頭結膜熱	2			1						2		6	1				12	0.3	1.2
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				5	1				1	1	2	10		1		2	23	0.2	0.9
○感染性胃腸炎	11	2			2						5	7	3	3		6	39	0.1	0.3
○水痘			1	3						1		1	1				7	0.3	0.4
○手足口病																	0	0.0	0.0
○伝染性紅斑				3					2	1							6	0.2	1.3
○突発性発疹		1											1			2	4	0.2	1.5
○ヘルパンギーナ																	0	0.0	
○流行性耳下腺炎	1																1	1.0	0.3
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																	0	0.0	0.0
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎							2										2	2.0	0.7
◇クラミジア肺炎																	0		0.0
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		0.0
計	81	8	1	29	110	0	21	67	6	82	22	314	27	27	3	15	813		

*過去3年の同週の平均値との比

疾患	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70
△小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11
◇基幹定点数				1			1			1							3

★○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2020年第1週(2019年12月30日~2020年1月5日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	13.4	1.3		4.3	21.4		3.8	13.4	0.8	19.3	3.8	71.8	4.2	5.8	0.8	1.3	10.2
RSウイルス感染症												0.8					0.0
咽頭結膜熱	0.4			0.3						0.5		1.5	0.2				0.2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1.3	0.2				0.3	0.3	0.5	2.5		0.3		0.5	0.3
感染性胃腸炎	2.2	0.5			0.4						1.3	1.8	0.6	0.8		1.5	0.6
水痘			0.2	0.8						0.3		0.3	0.2				0.1
手足口病																	
伝染性紅斑				0.8					0.5	0.3							0.1
突発性発疹		0.3													0.2		0.5
ヘルパンギーナ																	
流行性耳下腺炎	0.2																0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																	

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2020年第1週(2019年12月30日~2020年1月5日)

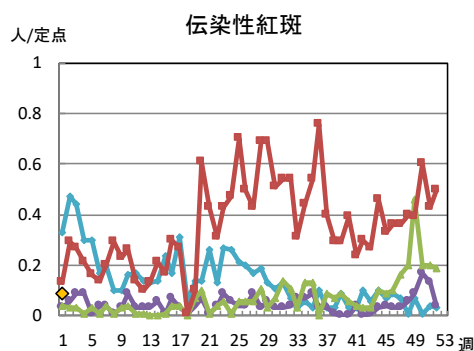
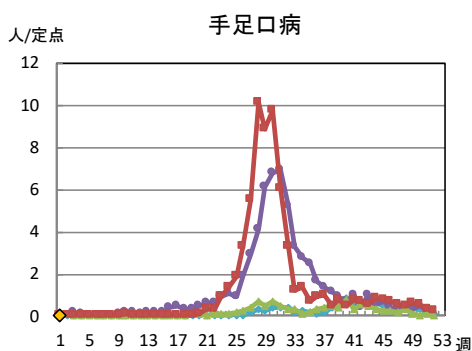
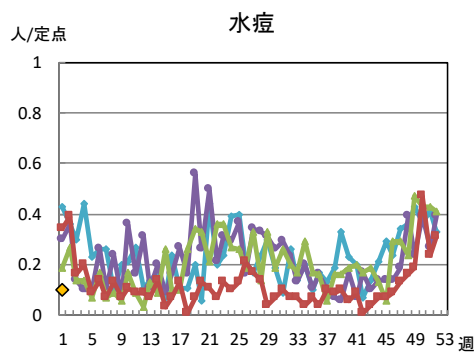
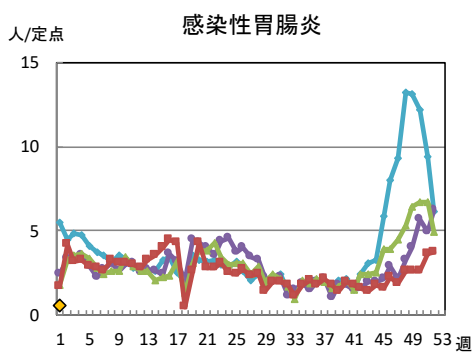
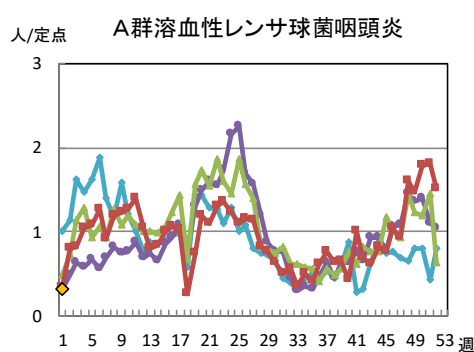
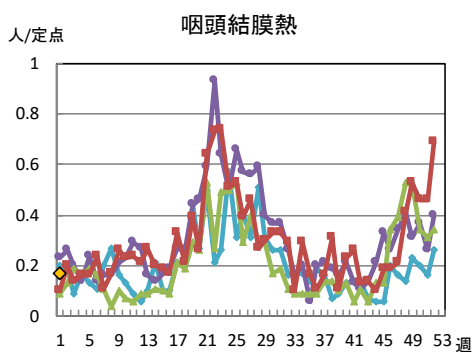
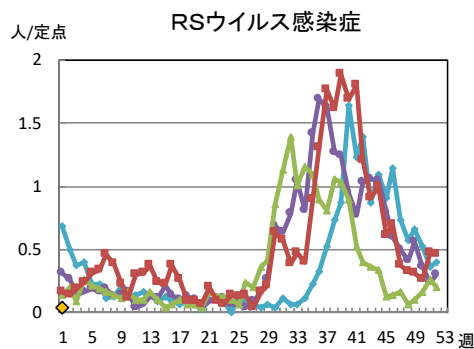
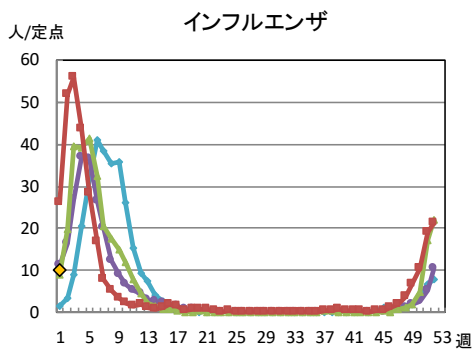
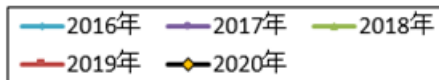
疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	
インフルエンザ	7	11	41	24	30	35	26	17	16	15	19	58	30	77	77	49	97	60	32	24	20

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	2		1											
咽頭結膜熱		1	1	3	2	2		2					1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	1	3	3	1	6			3	2	1	2
感染性胃腸炎		3	9	4	3	2	3	1	2			5		7
水痘								1	1			1	4	
手足口病														
伝染性紅斑						1	2	1	1	1				
突発性発しん		1	3											
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎												1		

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎																				

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎		1	1													
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2020年第1週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2020年第1週まで

